

第8回戦術委員会確認事項

2023年4月26日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日、第8回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 金属労協全体では、3,102組合のうち2,585組合が要求を提出、2,225組合(86.1%)が賃上げ(賃金改善分)を要求し、要求額の平均は7,799円となっている。

要求提出組合のうち、2,030組合(78.5%)が回答を引き出している。回答引き出し組合のうち、1,630組合(80.3%)が賃上げを獲得している。組合規模別で見ると、1,000人以上が217組合(94.3%)、300~999人が410組合(89.9%)、299人以下が1,003組合(74.6%)となっている。

賃上げ額の平均は5,502円となり、規模別では、1,000人以上が6,812円、300~999人は5,895円、299人以下は5,066円となっている。

一時金は1,420組合が回答を引き出し、平均月数は年間4.61カ月で、前年同時期を0.1カ月上回っている。なお、最低獲得水準である年間4カ月以上の組合は、79.0%となり、前年同時期より2.8ポイント増加している。

2. これまでの要求・回答状況をみると、中小も含め、前年を大きく上回る賃上げ要求を行い、賃上げ獲得組合の割合、賃上げ額ともに、2014年以降、最も高い水準となっている。中小においても、7割を超える組合が賃上げを獲得しており、賃上げ獲得の流れが広く波及している。

今後回答を引き出すすべての組合は、これまでの獲得状況を踏まえ、要求の趣旨にこだわり、働く者の生活を守り、産業・企業の魅力向上につながる賃上げの獲得を強く求めていく。

また、企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げに強力に取り組み、特定最低賃金の引き上げ・新設につなげ、産業全体の賃金の底上げを図っていく。さらに、非正規雇用で働く労働者の賃金・労働諸条件の改善や、働き方の見直しに関する協議などを重ねていく。

各組合は、産別指導の下、精力的に交渉を展開し、納得しうる回答引き出しのもと、速やかに決着を図ることとする。金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、JC共闘全体で支えていく。

3. 次回、第9回戦術委員会を5月24日に開催する。

以上